

自由民主党東京都支部連合会 「平成24年度 国家予算等の全般的な要望・意見交換会」

平成23年10月5日（水）、東京都中小企業会館にて自由民主党東京都支部連合会との要望・意見交換会が行われました。

自由民主党からは、中川雅治議員、平 将明議員、他3名が出席されました。本会からは、大村功作会長、上原洋一・堀越達哉・有手 勉の各副会長、堀内 忠専務理事が出席しました。

意見交換会では、堀越副会長から、国税通則法の改正で納税者権利憲章が取り入れられたが、税務調査に際し新たに罰則規定が設けられた点については、白紙に戻すよう要望をしました。

上原副会長からは、自動車部品製造業の立場で自動車税、自動車取得税、自動車重量税と消費税の二重課税の問題や円高に伴う産業の空洞化対策、さらにマスコミに対しては希望の持てる報道をして欲しい、また政府に対しては国民視点に立って速やかな課題解決を期待したい旨、意見を述べました。

大村会長からは、円高や産業の空洞化で企業倒産が増えれば、中小企業の優秀な技術者が海外に流出してしまうことから、何とか救済して欲しい。また、中小企業の声が反映されていない一例として、消費税の増税や最低賃金の引き上げなどの問題についてみても私たち中小企業と大企業では立場が違っている。消費税については、中央会としては零細企業の立場から増税には反対であり、また最低賃金についても大企業は、時給1000円とした場合の影響は少ないと思われ、中小企業とは相違があることなどを述べ、中小企業の立場からの要望をしました。